

LINTEC

WAVE

株主通信誌

JUNE 2026

99

【特集】

半導体関連事業の革新

第132期

(2026年3月期)

決算情報

証券コード：7966



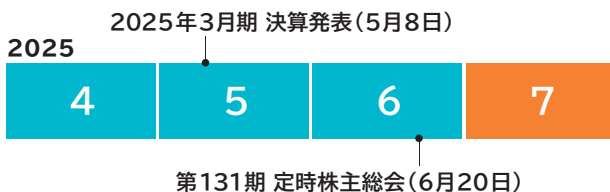
ひるぜん
蒜山高原(岡山県)
大山の裾野に広がり、雄大な自然と多くの観光スポットが集まる。「ひるぜんジャージーランド」の広大な敷地に咲き誇るひまわりは、蒜山の夏の風物詩となっている。

目次

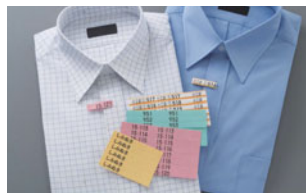
- 2 1年間の主な動き
- 4 株主・投資家の皆様へ
代表取締役社長 服部 真
社長執行役員
- 6 特集
半導体関連事業の革新
- 8 トピックス
- 9 会社概要／役員一覧
- 10 決算情報
- 12 セグメント情報
- 15 株式情報

(免責事項)
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

1年間の主な動き



- 5月13日
- TBSのトーク番組「マツコの知らない世界」で、クリーニングタグとして使用される当社の耐洗紙が紹介



耐洗紙の使用例

- 6月20日
- 300万株、83億円の自己株式の取得が完了

- 7月11日
- 「SOMPOサステナビリティ・インデックス」構成銘柄に選定



- 7月14日
- PETボトルなどからリサイクルしたPET樹脂を100%使用した建物用ウインドーフィルムの日射調整タイプを発売



ウインドーフィルムの施工イメージ

2026年3月期 第1四半期 決算発表(8月7日)



2026年3月期 第2四半期 決算発表(11月7日)

2026年3月期 第3四半期 決算発表(2月9日)

7月29日

- ログミー Finance主催のオンラインでの個人投資家向け会社説明会に参加

8月28日

- 靴や自動車の内装などに幅広く使われる合成皮革の製造工程で使用される工程紙の主力生産拠点に新規塗工設備を導入



小松島工場(徳島県)の新設備

9月3日

- 次世代半導体パッケージのコンソーシアム「JOINT3」への参画を発表



9月8日

- YouTubeの新チャンネル「リンテック科学TVプラス」を開設

11月10日

- 粘着シートやコートフィルムに関わる特許3件が「令和7年度 関東地方発明表彰」の「発明奨励賞」を受賞

12月19～21日

- 「第94回 全日本フィギュアスケート選手権大会」に協賛

1月14日

- 経済産業省が定めたDX経営に求められる指針に対応する企業として認定を取得



2月13日

- 山梨県韮崎市の鳳凰山域における生物多様性の保全および増進に関する協働協定を締結

2月18日

- 半導体チップの歩留まり向上に貢献する樹脂塗布プロセスの開発を発表 ※P.7参照

3月8日

- 大和インベスター・リレーションズ(株)主催の個人投資家向け会社説明会に参加 ※P.8参照



代表取締役社長
社長執行役員
はっとり まこと
服部 真

▶ 2026年3月期連結業績(前期比)

売上高

319,385百万円 (1.1%増)

営業利益

25,156百万円 (2.4%増)

経常利益

25,666百万円 (1.6%減)

親会社株主に帰属する当期純利益

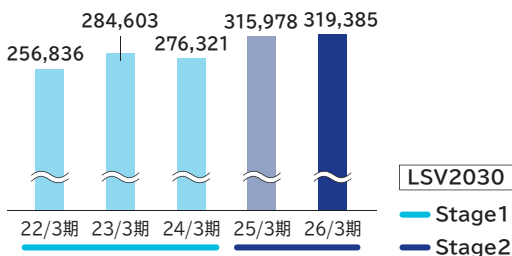
17,374百万円(20.0%増)

🟡 2026年3月期連結業績の振り返り

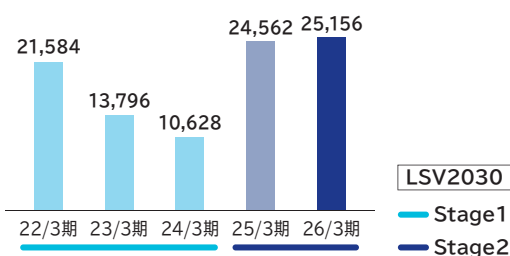
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2026年3月期の世界経済は、米国による関税政策が各国の経済に大きな混乱を来したものの、各国の景気刺激策などによって個人消費や設備投資が底堅く推移し、緩やかな回復軌道をとりました。我が国においては食料品を中心に物価上昇が続いているものの、雇用や所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直すなど景気は緩やかに回復しま

した。当社グループの2026年3月期連結業績につきましては、売上高はAI関連の需要増加により半導体・電子部品関連製品が引き続き堅調に推移し、利益面では原燃料価格の上昇や人件費を含む固定費の増加があったものの、販売数量の増加などで増益効果がありました。この結果、売上高と営業利益ともに2期連続で過去最高を更新することができました。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



2027年3月期の見通し

2027年3月期につきましては、世界経済は活発なAI関連投資や各国の積極的な財政政策に支えられて引き続き成長が期待されるものの、米国の高関税政策や中東情勢の緊迫化により景気減速懸念も増しており、予断を許さない状況が継続すると予想しています。中東情勢起因の原燃料価格や物流コストの上昇が当社グループの経営環境に極めて大きな影響を及ぼし、サプライチェーンにおいて調達に支障を来す可能性も払拭できませんが、お客様への製品供給に最大限努めていきます。こうした世界情勢に加えて、賃上げによる人件費や新規生産設備導入による減価償却費などの固定費増加が利益を押し下げる要因となりますが、前期に引き続き半導体・電子部品関連製品の売り上

げが伸長すると見込んでおり、業績予想は増収増益としています。また、今期の年間配当金は通期連結業績予想を踏まえ、前期から10円増額の120円を予定し、3期連続の増配を見込んでいます。なお、配当性向は40.3%となる見込みです。当社は株主の皆様への利益還元の充実を経営上の最重要課題の一つと位置づけており、今後も充実を図ってまいります。

2027年3月期連結業績予想(前期比)

売 上 高	3,420億円 (7.1%増)
営 業 利 益	275億円 (9.3%増)
経 常 利 益	275億円 (7.1%増)
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	195億円(12.2%増)

長期ビジョンの実現に向けて

当社グループでは2030年のあるべき姿を見据えた長期ビジョン「LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030 (LSV 2030)」を2021年に掲げ、その実現に向けたマイルストーンとして3か年ごとの中期経営計画を策定・推進しています。中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」の最終年度となる今期はこれまで取り組んできた重要施策の成果を確実に出し、「Stage 3」への弾みをつけることで長期ビジョン実現への確度を高め

ていきます。「Stage 2」の最終年度で掲げた売上高営業利益率8%以上やROE(自己資本当期純利益率)8%以上などの各種経営目標を達成すべく、成長事業に対する積極的な投資や資産・資本効率の改善、事業ポートフォリオの最適化などに積極的に取り組み、さらなる企業価値向上に努めていきます。株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。